

「第19回 ゆきかう那賀川推進会議」を開催

令和6年5月31日（金）に阿南市役所にて、「第19回 ゆきかう那賀川推進会議」（以下、推進会議）を開催しました。

推進会議には、委員11名とオブザーバー1名の計12名が出席しました。



今回は、推進会議の令和6年度の取組（案）報告と推進会議での「取組の物語化」をどうするか意見交換を行いました。

今年度の取組に対して、委員会からの意見は以下のとおり。

- 令和6年8月3日（土）に那賀川アフターフォーラム主催で、「那賀川流域フォーラム」を開催する。これはテーマを「つなぐ」とし、「上流と下流をつなぐ」、「人と人をつなぐ」、「未来へつなぐ」とし、開催する。
- ファガスの森付近で、24時間トレイルランニングレース、マウンテンマラソンを今年も開催する。また、山ツアーも長年やっている。こういうものも推進会議と連携して取り組めれば思う。
- 森の中で尺八と三味線コンサートを予定している。こういう取組も含め、地域に貢献できることを考えたい。
- 毎年行っている那賀川センチュリーランで今年は長安ロダム下流のドローン広場を使用してコース等検討したい。また、ダムマルシェやなかまつりとも一緒に出来ればいいと思う。
- 長安ロダムのライトアップは良かった。もう少し期間を延長できないか。

これらの意見から今後以下のような取組を進めることとしました。

- ◆ 24時間トレイルランニングレース、マウンテンマラソン、山ツアーを推進会議との連携取組とする。
- ◆ 那賀川センチュリーランとの連携を検討する。ドローン広場の使用に対して那賀町とも連携し協力する。
- ◆ 長安ロダムのライトアップの期間延長の検討



意見交換では、事務局より取組の物語化をするためには、那賀川と旧8市町村の歴史的関係を調べ進めたい。そのためのどのようなことが重要か意見を頂いた。

委員からの意見は以下のとおり。

- 川口ダムエネルギーミュージアムの HP に長安ロダム建設当時の現場近くで生活していた方の語り部動画があるので、参考したら良いと思う。
- 源流モニュメントを設置する時、かなり苦労した。そういう苦労話を歴史として整理すると良い。
- 那賀川全体で軸となるストーリーを作り、それに派生するものを重ねていく形で考えるとよい。物事をみるには、鳥の目、虫の目、タイムマシンの目で歴史的観点をみたら、物語が出来るではないか。
- 那賀川上流域で現実には起きている問題にも着目すべき。歴史を調べることは大切だが、もっと山に足を運び、現場をみないと歴史はわからないと思う。今後は過去の状況と比較できるような写真も撮影していく。
- 歴史を掘り下げると下流や海の方は昔がよかったなど様々な意見があると思う。人それぞれ考え方がるので、それを整理して行く必要があると思う。

- 地名の由来から川とその周辺集落の生活がどのような状況だったかを取り入れると良いと思う。
- 山の自然の大切さ、その地域の生活や活性化ということを取組に考えることが重要。
- 推進会議での各委員の「思い」を文章化すること。それはただまとめるだけでなく、10年後、20年後、50年後も読んでもらえるような仕掛けをすると良い物語が出来ると思う。

これらの意見から今後以下のような取組を進めることとする。

- ◆配布した資料にもいろいろな材料があるので、那賀川の歴史や文化を掘り起こし、整理・まとめていく。
- ◆那賀川上流域の山や森がどうなっているかを認識する必要があることから、推進会議でも山や森のPRをしていくようにする。

